



貝森小学校地域懇談会ニュースでは、今後の貝森小学校のあり方についての話し合いの概要を、貝森小学校区内にお住いの皆様にお知らせします。

懇談会での協議の結果

「貝森小は国見小と統合する」という結論が出されました

- ◎ 懇談会での協議は、今回をもって終了します。
- ◎ 「懇談会としての結論」を受けて、今後、国見小との統合について、関係者で協議を始めます。

第 6 回貝森小学校地域懇談会

日時：平成 25 年 6 月 22 日(土) 10:00~12:15

場所：貝ヶ森市民センター 2 階 会議室

■ 意見交換 今後の貝森小のあり方について

前回の意見交換で、懇談会の協議期間と結論の出し方について話し合い、次回、意見を取りまとめていくために、地域委員それぞれが存続・統合についての考えを述べることにしました。



これまでの協議で「保護者の意見を尊重したい」との意向が示されたことから、今回の意見交換では、初めに保護者代表がそれぞれの思いや考えを述べました。

引き続き、町内会・地域団体代表がどのような考えなのか、それぞれの意見を述べました。

次に、今後の進め方について話し合い、これまでの協議の中で存続・統合に関する議論は十分に尽くしたことが確認されました。

そこで、懇談会としての結論を出すこととなり、あらためて地域委員の意見を確認した結果、「貝森小は国見小と統合する」という結論となりました。



「懇談会としての結論」を受けて、今後、国見小との統合について、関係者で協議を始めます。

※裏面に主な意見を掲載しています。

統合を希望

- 貝森小は良い環境の中にあり、学習面も生活面も満足しているが、より多くの友だち、仲間が欲しい。
- 小さい頃からいろいろな人と出会える場を提供してあげたい。人とのかかわり合いを通して、自分自身を知り、相手の気持ちを思いやれる子どもに育ててほしい。
- いろいろな組み合わせで複数のグループができ、学習においても運動においても、学び合い高め合う仲間が増えるので積極的に統合すべき。
- 学年に複数の学級があると、学校行事などで学級ごとに目標に向かって協力し合う楽しさを味わえる。また、クラス替えがあるので、子どもたちがいろいろな人間関係を経験できる。
- 学校と地域の交流は、貝森小に限ったことではなく、国見小でも同様に行われている。今後、貝ヶ森地域の人口増加がそれほど見込めないとすると、統合に反対する理由はない。
- 存続・統合について、はっきりしない状態が長引くことは、子どもたちにとっても良くない。少しでも早く結論を出し、子どもたちの教育のためになればと思うので、統合の方向に進めてほしい。



存続を希望

- 通学路の安全性や学習面など現状に満足している。また、国見小との交流を行えば、子どもたちの人間関係を広げることができると思う。
- 学級数が多くクラス替えができるほうが良いというだけの理由で、学校がなくなるのは疑問を感じる。貝森小には愛着があり、地域活動の中心でもあるので、できれば存続してほしい。
- 少人数学級、小規模校の良さは数多くあり、それを大切にしてほしいので、小さいから統合という考え方には賛成できない。



どちらともいえない

- このまま子どもの数が減り続けるならば統合に向かうのかと思うが、自然環境に恵まれた貝森小で子どもの数が増えれば良いという思いもあり、悩んだが決められなかった。
- 子どもは子どもなりに環境に馴染もうと頑張る。存続・統合どちらの場合にも良いところ、悪いところがあるので、決めかねている。どちらかに決まればそれに従いたいと思う。

事務局：仙台市教育委員会事務局 学校規模適正化推進室

電話：214-8432 FAX:264-4428

Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

※取組み内容はホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索